

活動計画書

法人名	NPO法人 環境教育ネットワークたねのもり				
活動名	ノイホーフ南埼玉へようこそ！～自然栽培がつなぐ環境教育の輪～				
活動期間	令和6年6月15日 ～ 令和7年2月5日				
申請活動区分・分野	活動区分名	SDGs推進活動助成 <input type="radio"/> 自立促進活動助成			
	分野名	<input type="radio"/> 人間	<input type="radio"/> 豊かさ	<input type="radio"/> 地球	<input type="radio"/> 平和 <input type="radio"/> パートナースHIP

1. 申請する活動の目的

<200字程度> 申請する活動により解決を図る地域課題、社会課題

農業人口がますます減少し、地域の耕作放棄地が問題となっている。核家族化が進む背景も相まって、郷土への愛着や地域社会の繋がりが希薄であることもその理由の一つである。子育て世代やシニア世代の孤立化は、社会基盤の不安定さや家庭の教育力の低下を招き、未来を生きる子どもたちが「生きる知恵と力」を会得できず揺らいでしまう。本活動は、拠点とする農場を取り巻く地域のコミュニティ形成と、体験授業・環境教育を通して全世代を対象とした郷土教育の土壌を育むことを目的とする。

<200字程度> 上記の課題に対し、申請する活動が必要となる理由

元来、日本の風土は年間を通して四季折々の暮らしの知恵や農仕事などの郷土教育に非常に向いている側面がある。しかし共働き世帯が多い昨今、土地を家族で管理することや手間のかかることを敬遠する世代が拡大し、文化に触れる機会や体験的教育は週末のレジャーと化してしまっている。ノイホーフ南埼玉では、各分野の専門家が交差しながら課題解決を試み、地域課題を家族ぐるみで支えていくためのコミュニティモデルとなることができる。

2. 申請する活動の内容

<200字程度> 申請する活動の概要

1. 農作活動を通じた家族ぐるみのコミュニティ作り、自然農法の知識技術の伝達と持続可能な社会(SDGs)への選択肢の模索
2. 体験的な郷土教育・環境教育活動の実施(田植え、味噌づくり、収穫祭など)と、耕作放棄地の再生と地域社会への活動発信
3. 各分野の専門家(農家、教育学者、哲学者)による講演会の開催とオンライン勉強会の実施

<200字程度> 申請する活動の目的を達成するための実施体制、他団体等との連携

運営スタッフ2名(吉本、梶村)、企画管理スタッフ1名(児島)をコアスタッフとし、サポートメンバーとして法人理事、森のようちえんのスタッフ・保護者(別事業)を据える。
連携する団体・外部講師依頼は、自然環境と幼児共育at埼玉ネットワーク(団体)、黒澤英典氏(教育学者/個人)、研修耕作@加須市 義豊園(団体)を迎える。

<200字程度> 申請する活動の目的を達成するための助成金の活用方法

農業の担い手の増加と人材育成の質を上げるために、申請項目は備品等のハード面よりも外部講師謝礼・スタッフ人件費等のソフト面に重きを置いた。2年目3年目と活動が続いていくためにはスタッフメンバーの充実と、確かな知識技術の習得が必要である。助成終了後も運営が安定するよう、スタッフ自身もコミュニティを広げ、講師依頼やワークショップを企画運営できるスキルを助成期間中の1年間で身につける。

3. 申請する活動の計画

<200字程度> 申請する活動の目的を達成するための事業計画

ミーティング、農イベント、勉強・講演会、ワークショップ、報告会を1年間でまとめあげるように計画を練る。参加者が偏らないように、開催内容によって広報のターゲットを変える等工夫する。コミュニティ形成を主要な目標として掲げるため、報告会や勉強会を一般募集し、ゆくゆくは企画運営できる人材育成に向けて準備をしていく。

具体的な計画

活動の名称	実施時期	実施場所	活動の種類	活動の内容
ノイホーフ南埼玉 第一回ミーティング	6月	法人事務所(宮代町)	事前準備	顔合わせ、活動概要の共有、イベント準備
ノイホーフ南埼玉 立ち上げイベント	6月	田んぼ(白岡市)	イベント	田植え/義豊園 杉村長世氏の百姓ワークショップ
ノイホーフ南埼玉 農イベント	8月	畑(宮代町)	イベント	夏野菜の収穫、火を使わない調理実践と食研究
ノイホーフ南埼玉 講演会	9月	宮代町図書館ホール	広報	パスタロッチと郷土教育 黒澤英典氏
ノイホーフ南埼玉 農イベント	10月	田んぼ(白岡市)	イベント	稲刈り/脱穀/収穫祭
ノイホーフ南埼玉 スタッフ研修会	11月	安曇野市シャンティクティ	その他	持続可能な社会デザイン、パーマカルチャーを学ぶ研修会
ノイホーフ南埼玉 勉強会	12月	オンライン	イベント	自然環境と教育・保育の実践報告
ノイホーフ南埼玉 ワークショップ	1月	宮代町図書館ホール	イベント	日本の風土を学ぶ紙芝居 今中愛氏
ノイホーフ南埼玉 第二回ミーティング	1月	法人事務所(宮代町)	打合せ	活動の振り返り、報告書の作成、報告会準備
ノイホーフ南埼玉 活動報告会	2月	宮代町図書館ホール	広報	活動報告、次年度スケジュールの周知

4. 申請する活動の効果

<200字程度> 申請する活動の効果

農イベントは主に地域の親子を対象とし、家族ぐるみの付き合いができるコミュニティへと発展させていく。講演会は地域の保育・学校関係者、行政関係者を巻き込み、地域社会の課題解決に向けた取り組みの情報共有やワークショップの企画・開催を通して、世代を横断するコミュニティが地域を盛り上げ住民の顔が見える暮らしを実現する。

<200字程度> 申請する活動の効果を得るために、申請者の特徴や強みをどのように生かすか

別事業の森のようちえん活動の中で既に小さな親子コミュニティが形成されているため、口コミでの募集で参加者を集めることができる。

自然農法での実績としてこれまでに5年間の実施経験をもとに、自然環境と子育て・教育との関係性を伝えることができる。活動に非常に積極的なスタッフが揃っている。

「農の町みやしろ」を掲げた宮代町に事業所があり、農作から始まるコミュニティ作りに行政も賛同を示しており、今後の連携が期待できる。

<各項目100字程度> SDGsの17の目標に対する活動の効果(最大3個まで記入可)

1	目標名	15 陸の豊かさを守ろう	←17の選択肢から選択する
	効果	拠点となる耕作放棄地の再生、土地の地主様との良好な関係形成・理解を得る、地域の景観を大切に美しくする 生涯教育の場として農業に関心を寄せる人材を育成し、農業人口の増加に貢献する。	
2	目標名	4 質の高い教育をみんなに	←17の選択肢から選択する
	効果	体験的な郷土教育活動の実施、農活動による食育、日本の風土と文化的背景を学ぶ。 幼少時代から地域の自然に触れ、郷土への関心を育み仲間とのつながりを通して学校以外の学び舎となり得る。	
3	目標名	3 すべての人に健康と福祉を	←17の選択肢から選択する
	効果	地域住民による横の繋がりを形成し、家族ぐるみで互助的な関係を築く中で、誰もが安心して暮らせる町づくりを目指す 農活動を通して健康の維持や食への意識を高め、地域住民の健康維持に貢献する。	

5. 活動の継続・発展について

<200字程度> 活動を継続的に行うための課題、活動の継続性を高める方法、活動を発展させるための取組はどのようなものか

1. 活動の企画運営を担うことができる人材の育成(子育て世代の参加者が、子連れであっても安心して参加できる仕組みづくり)

2. NPO法人の会員増加と活動の質向上による認定NPO法人化を目指し、より信頼できる団体となるよう発展させる。

3. 同じような活動を志す他団体のモデル事業となり、技術の伝達・指導を行っていくことで、南埼玉エリアの枠が拡大する。

6. 活動の自立について ※自立促進活動助成に応募する場合のみ

<200字程度> 事業収入により活動の継続性を高める方法や取組はどのようなものか

今回の事業をもとに農業の6次産業化を目指し、運営基盤を安定させる。具体的には収穫した野菜でのピクルス販売や田んぼの米を使ったオーガニックの弁当販売、カフェ事業など。

事業のファンを獲得し、販路の拡大とともに本活動に興味関心を寄せる地域住民を巻き込んだ事業形成とモデリングを目指す。行政(町づくり・産業環境課・子育て支援課)と連携し

活動の告知や後援等の協力を仰いでいく。

活動収支予算書

法人名 NPO法人 環境教育ネットワークたねのもり
 活動名 ノイホーフ南埼玉へようこそ！～自然栽培がつなぐ環境教育の輪～

1.収入の部		496,525 円							
項目	予算額(円)	積算・内訳等							
a.助成金交付申請額	376,000	※千円未満切り捨て							
b.自己資金	525								
	525	←自己資金のみ直接金額を入力する							
c.活動実施による収入等	120,000	数値	単位	×	数値	単位	×	数値	単位
活動の寄付・支援金(参加費含む) 一口3000円	120,000	3,000	円	×	40	名	×		
	0			×			×		
	0			×			×		
	0			×			×		
d.その他	0	数値	単位	×	数値	単位	×	数値	単位
	0			×			×		
	0			×			×		
	0			×			×		
	0			×			×		

2.支出の部		496,525 円							
項目	予算額(円)	積算・内訳等							
a.会場費	34,800	数値	単位	×	数値	単位	×	数値	単位
宮代町立図書館ホール使用料	18,000	1,500	円	×	4	時間	×	3	日
プロジェクター使用料	4,800	400	円	×	4	時間	×	3	日
スクリーン使用料	6,000	500	円	×	4	時間	×	3	日
マイク使用料	6,000	500	円	×	4	時間	×	3	日
	0			×			×		

b.通信運搬費		0	数値	単位	×	数値	単位	×	数値	単位
		0			×			×		
		0			×			×		
		0			×			×		
		0			×			×		
		0			×			×		
		0			×			×		
		0			×			×		
		0			×			×		
c.旅費交通費		27,785	数値	単位	×	数値	単位	×	数値	単位
(往復)外部講師交通費①義豊園 杉村長世氏(1km当たり15円を距離単価とする)		660	44	km	×	15	円	×	1	日
(往復)①高速料金(羽生IC-久喜IC)		1,160	1,160	円	×			×		
(往復)外部講師交通費②武蔵野大学誉教授 黒澤英典氏		1,425	95	km	×	15	円	×	1	日
(往復)②高速料金(花園IC-白岡菖蒲IC)		3,560	3,560	円	×			×		
(往復)講師交通費③日本の風土を紙芝居で学ぶ 今中愛氏		240	16	km	×	15	円	×	1	日
(往復)スタッフ研修会交通費		7,560	504	km	×	15	円	×	1	日
(往復)研修会高速料金(麻績IC-白岡菖蒲IC)		13,180	13,180	円	×			×		
d.消耗品費		93,940	数値	単位	×	数値	単位	×	数値	単位
ガソリン代①スタッフ吉本		4,500	30	km	×	15	円	×	10	日
ガソリン代②スタッフ梶村		2,400	16	km	×	15	円	×	10	日
ガソリン代③スタッフ児島		24,300	162	km	×	15	円	×	10	日
③高速料金(相模原IC-白岡菖蒲IC)		45,800	4,580	円	×	10	日	×		
資料印刷用 プリンターインク(EPSON 80L系インクカートリッジ お好みパック)		16,940	8,470	円	×	2	個	×		
		0			×			×		
		0			×			×		
		0			×			×		
		0			×			×		
		0			×			×		
		0			×			×		
		0			×			×		
		0			×			×		
		0			×			×		
		0			×			×		
		0			×			×		
		0			×			×		
		0			×			×		
e.備品費		0	数値	単位	×	数値	単位	×	数値	単位
		0			×			×		
		0			×			×		
		0			×			×		
		0			×			×		
		0			×			×		

